



○植村 興

ネスレ日本株式会社ネスレピュリナペットケア様の特別協賛、それからロイヤルカナンジャパン、マースジャパンリミテッド、ディーエスファーマーアニマルヘルス株式会社、それから山内様、柴内様からの貴重な御支援賜りまして、そのおかげをもちまして、このような素晴らしい会場で本当に快適な会を持てたことに対して、本当に心から御礼申し上げたいと思います。それから、大分内輪の皆様方多いですが、主催者の山根会長からも強く言われましたが、これは第2回だけでとどまらずに、引き続いて第3回もやってくれというのか、やるというのか、ちょっと聞き忘れたんですけども。とにかく、第2回では終わりではなくて、これは私、今回いただいたときに、このマイクは閉会のあいさつではなくて第3回の出発のあいさつにしたいなど、そういうふうに思っております。

この中で第3回反対の人、挙手お願いします。全員第3回やるということで満場一致でございますので、そういう方向に向かってやってくださいと言うたらいかんです、やりましょうと言わなあかんですね。ということで、これはとりもなおさず、今回のサブタイトルにもございましたように、人と動物の未来のためにということでございますので、皆様方の知恵を結集して、将来に向かう出発とさせていただきますと思います。

私ここ素晴らしいバッチしてますね。命という、ちょっと宗教的な話したらいかんですけどね、「命は今あなたを生きている」というのがタイトルになるんですね。それで、これは命のバッチなんですね。私、いつも自分を鼓舞するためにも命のバッチつけてるんですけどね。やはり、人と動物、動物と言ったら、また山口先生からおしかり受けるんですね。動く生き物と言わな、動く生命体と言うんですね。命を大切にすることでございます。

本当に国際会議にふさわしく、レベッカ・ジョンソン先生には本当に遠路はるばる来ていただきました。ありがとうございます。片峰学長はお忙しいんですけども、素晴らしいキーノートスピーカーをいただきまして、本当に感謝しております。しかも、この学会には団体でありますとか、あるいは日本を代表する学会、団体、24団体の協賛、あるいは協力を賜りました。これもひとえに皆さん方のエネルギーがこういう巨大な組織、人々を動かしたことに結びついたら、私は本当にうれしく思っております。

最後になりましたが、このような素晴らしい国際会議を、常にトップに立ってリードしていただきました公益社団法人Knotsさん、理事長初め、この素晴らしいスタッフ、この団結したチームワークの働きによってこの会が成功裏に終えることができたと思っております。どうぞ皆様方、Knotsさんに拍手をお願いしたいと思います。どうもありがとうございます。

それでは、閉会の言葉ではなくて出発の言葉として、これで私の話を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

○富永（総合司会）

植村先生、ありがとうございます。

やはり、アドバイザーは先に立って率いていただくのだということがよくわかりました。そちらでうなずいておられるアドバイザーの柴内先生、山口先生、山崎先生、玉井先生、皆さんを率いていただきたいと思います。セクレタリージェネラルとして、どこまでもお供いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

アドバイザーの先生方、起立してください。この皆さんが、これからこのI C A C 2014になると思いますが、また改めて率いていただきたいと思います。さっき翻訳チームのキムさんと相談して、I C A C長いので短くしようと、神戸アニマルケア国際会議と言っていると舌をかむという話になりまして、ここにレベッカ先生がいらっしゃいますけども、I A H A I Oみたいにかっ



こよくしようということになりまして、International Conference on Animal Care ということで、これをアイカックと読むことにしました。ですから、今回は I C A C という短い名前と呼んでいただけたと思います。アイカックではなくてアイカックなので、 아이폰、アイブックでアイカックだそうです。次から I C A C と呼んでいただいて、この5匹のキャラクターたちと一緒に頑張っ、皆さんと一緒に盛り上げていければと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

そして今回の2012の記録集、またチャレンジをして日英で挙げる努力をいたします。また、翻訳チームを応援していただきたいんですけども、どうぞ先生方も翻訳ですとか、英文のスライドの御提供ですとか、可能な限り協力をしていただきたいと思ひます。我々がどんなチームかわかっていただけたと思ひますので、たくさんメールを送りつけても怒らないで、丁寧に対応していただけたらと大変うれしく思ひます。理事長として、ぜひスタッフに快適な職場環境を用意したいと思ひますので、どうぞ皆様御協力のほうをよろしくお願ひいたします。

I C A C はそういうことで2014に向けて出発するわけですが、2013を控えておられるプレジデントがここにいらっしやいます。

I A H A I O の P R をここで、プレジデントのお仕事をさせていただきたいと思ひます。通訳は私どもの翻訳チームが行います。

○ Rebecca

(英語)

○通訳

皆さん、英語のよくわかってる方いらっしやるので、ちょっと短くしますけれども。今回のこの会議を行ってくださった、サポートしたり運営してくださった皆さんお疲れさまです。本当にありがとうございます。そして、私自身この場において、皆さんと一緒にこの場をシェアできたこと、とても心から感謝しております。皆さんの温かいお気持ち本当にありがとうございます。特に、佳与子さん、温かく迎えてくださって、いろいろケアして下さってありがとうございます。

○ Rebecca

(英語)

○通訳

多分皆さんよくおわかりだと思ひますけれども、来年、2013年シカゴで行われる I A H A I O の会議にぜひいらしてください。そこで改めて今回のいろいろな持ち上がった議論をそこで続けたいと思ひます。



Human animal integration、動物と人間とのかかわり方についてより深く追求できるかと思ひます。

○ Rebecca

どうもありがとう。

○富永(総合司会)

もう一度レベッカ先生に感謝の拍手を。Thank you very much Rebecca.

これで皆さんがシカゴに行く決意を固めたところで、そこで磨いた我が身を持って、また神戸に集合していただくことを強く願ひまして、この会議の締めくくりとさせていただきますと思ひます。

皆さん、本当にありがとうございました。

これで終わりですので、レセプションのときにように部屋に残らないようにしてください。5時半であけないといけませんので、皆さん、どうぞお気をつけてお帰りください。シカゴでお会いしましょう。